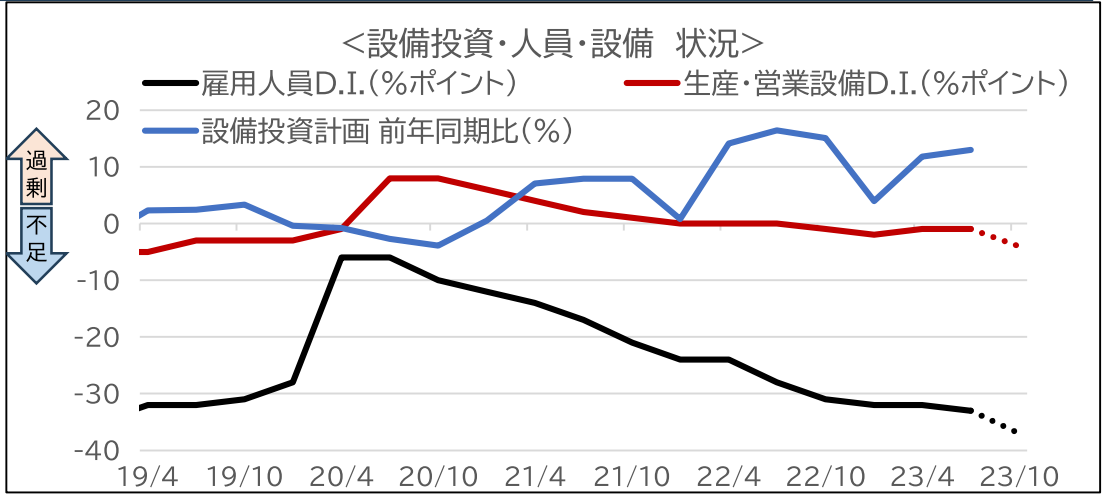
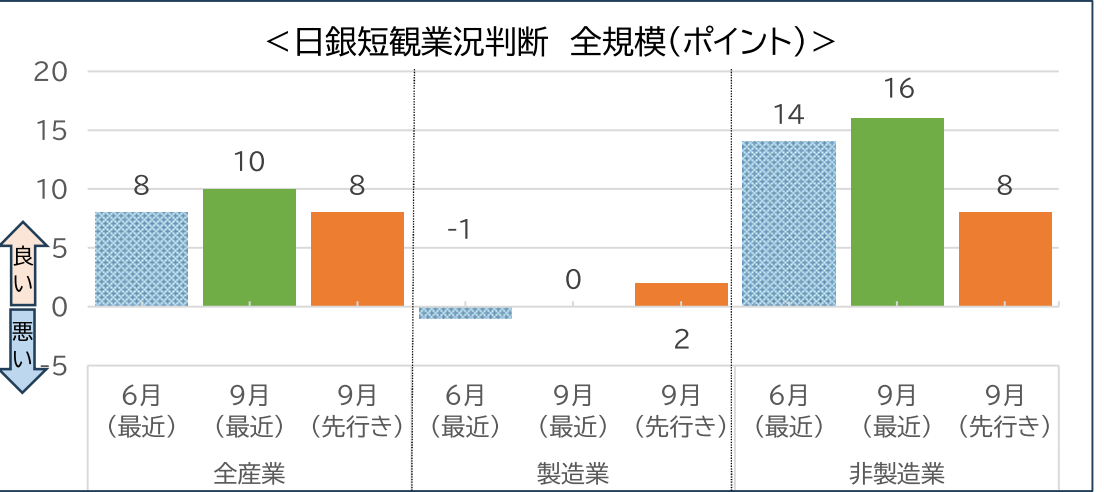


日本・世界の経済

執筆 日本政策総研 主席エコノミスト 村井慎吾
(監修)北海道大学名誉教授 宮脇 淳
9 月日本 日銀短観

2023/10/10 第 53 号
朝日田コーポレーション
●メールアドレス: info@sapporo-php.co.jp
●ホームページ: http://www.sapporo-php.co.jp:



(資料)経済産業省、内閣府、JMTBA 資料より作成。

国内企業全体における足元の業況判断(良い-悪い)は6月調査に比べ改善した。製造業は、供給制約の緩和に伴う自動車セクターの復調等を背景に、3四半期連続で改善。また、非製造業については、水際対策緩和に伴うインバウンド消費の増加が景況感を押し上げ、1991年以来の水準となった。

設備投資に対する企業の投資意欲は継続。企業の人員不足感が拡大するなかで、DX・省人化対応のニーズが高まっており、今後も投資意欲は堅調に推移する可能性が高い。但し、足元では機械受注等の設備投資関連指標に弱さが見え始めており、海外の景気不透明感等を背景に「計画」が「実行」に結びつかを注視する必要がある。